



ぶっこくざんずいおうじ 佛國山瑞應寺



ぶっこくざんずいおう じ佛國山瑞應寺

は、釈迦如来像を本尊とする 曹洞宗(禅宗)に属するお寺です。

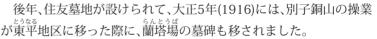
家11代武村が、鎌倉から月担和尚 を招いて、父母の菩提を弔うため に建立し、その戒名より、佛國山瑞 應寺(以下、瑞應寺)と名付けまし

文安5年(1448)生子山城主松木

別子銅山の銅で 葺かれた 本堂の大屋根 (昭和11年)

る

か



さらに、大転輪蔵は、京都の北野天満宮に奉安されていたものが、明 治の神仏分離令で安価で売り出された際、銅山での殉職者を鎮魂する ため、住友によって買い求められました。



ない。 稼人が暴動を起こした際、瑞應寺の住職が問題解決に協 力したことが縁で、広瀬宰平と瑞應寺との関わりが出来

これに感謝した広瀬宰平は、明治2年(1869)2月本堂横

に長泉堂を建立し、併せて810坪の畑も寄贈しました。

ました。

この転輪を回して礼拝すれば大きな功徳が積もると言われています。 また、県指定の有形文化財にも指定されています。

さらに、境内には、別子大火災や別子大水害、太平洋戦争時の中国人捕虜 の殉職者などの慰霊碑が建立され、現在も追悼法要が行われています。







大転輪蔵



ならさき つうげん 横崎 通元さんは です。

人の生きる道を優しく、分かりやすくお教えいただき、私たちに勇気と 生きる力を与えてくださいます。

